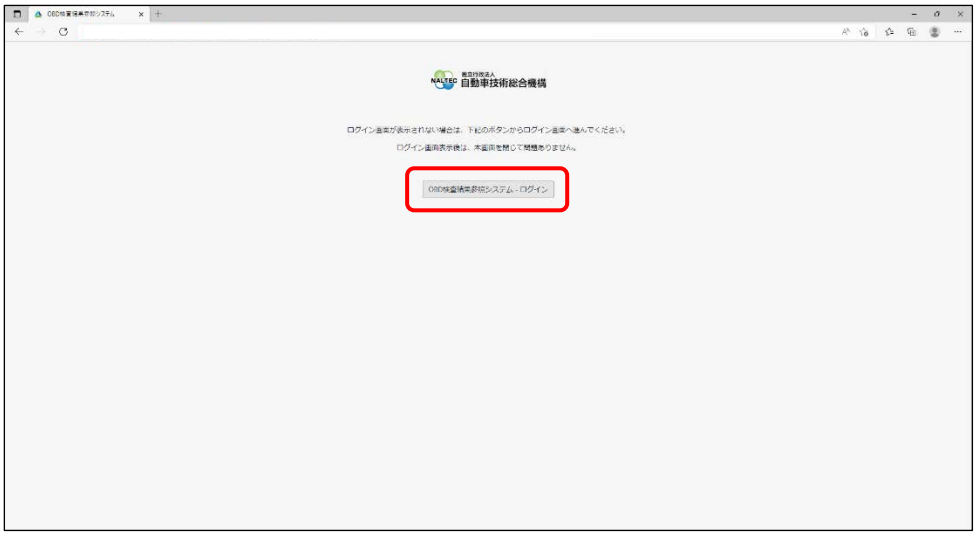
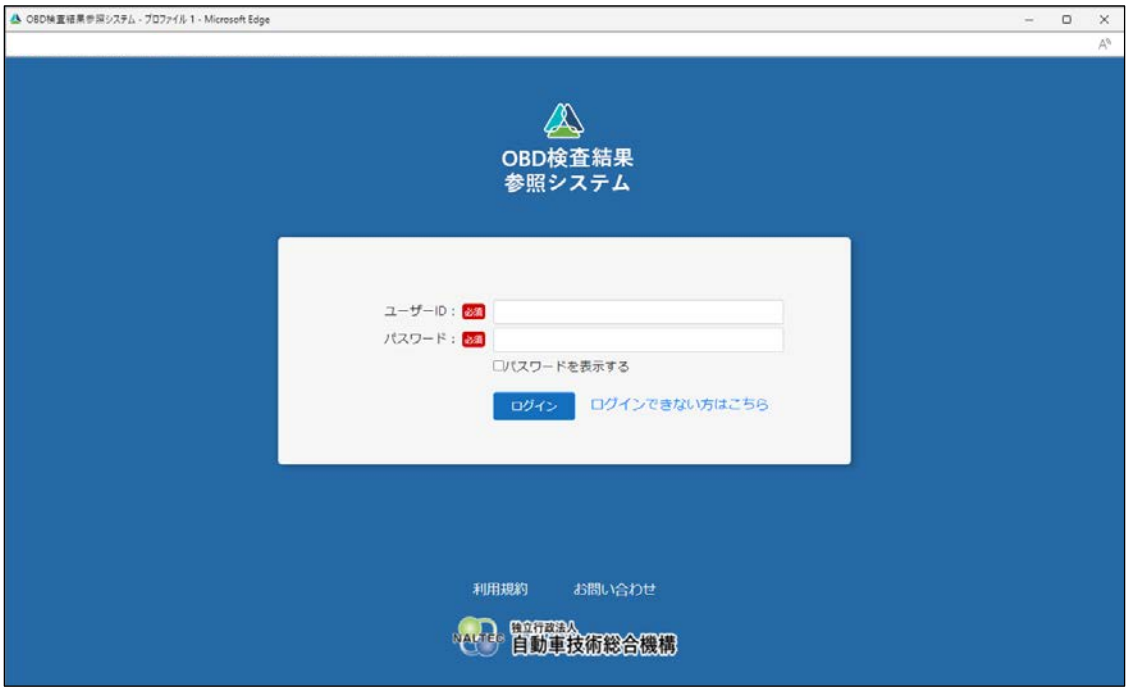
5 こんなときは

5.1　ログイン画面が表示されないとき

システムにアクセスしたときに、ログイン画面が表示されない場合は、トップページが表示されます。
その場合は、「OBD 検査結果参照システム － ログイン」を押すと、ログイン画面が表示されます。





システムにアクセスしたときに、ログイン画面を自動表示したい場合は、Web ブラウザの設定でポップアップを許可してください。設定方法については、Web ブラウザのヘルプを参照してください。

5.2　ユーザーID またはパスワードを忘れたとき

ユーザーID またはパスワードを忘れたときは、管理責任者または統括管理責任者に連絡してください。

管理責任者は、利用者管理システムにより、利用者情報の確認や、パスワードのリセットが行えます。

ご注意

- ユーザーID、パスワードは、個人を特定する重要な情報です。他者との共有や他者への貸出しを行わないでください。
- パスワード漏洩のリスクを減らすため、パスワードのメモを作成しないでください。また、使用する端末にパスワードを記憶させないでください。
- パスワード漏洩のおそれがある場合には、パスワードを変更してください。

5.3　パスワードを変更したいとき

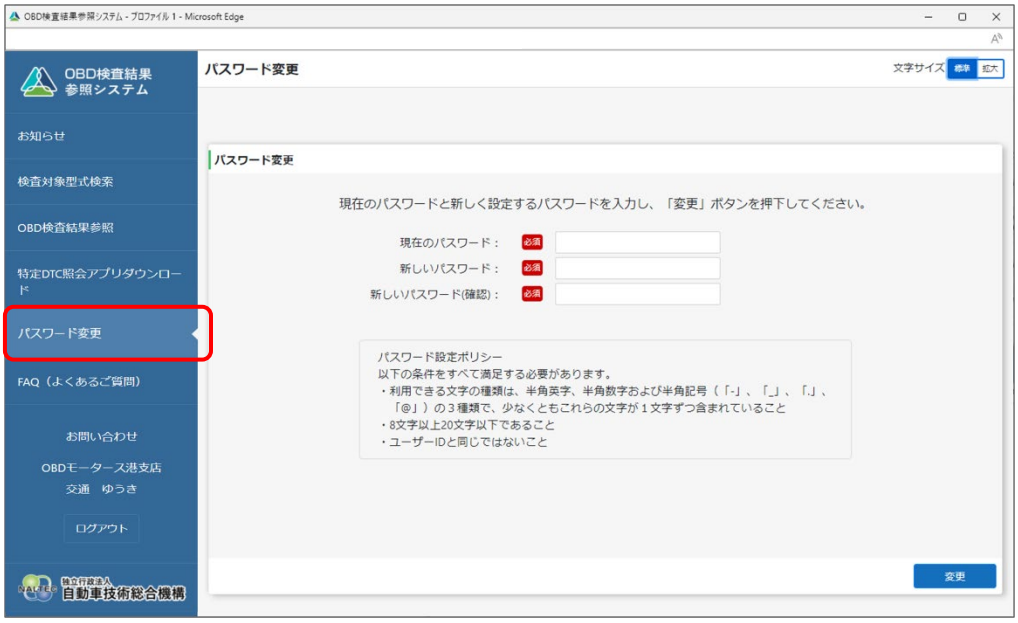
事前に登録された利用者のパスワードを変更します。

ご注意

本システムのパスワードを変更すると、特定 DTC 照会アプリのパスワードも変更されます。

1. メニューの「パスワード変更」を押す

《パスワード変更》画面が表示されます。



2. パスワードを入力する

① 「現在のパスワード」に現在のパスワードを入力します。

② 「新しいパスワード」に新たに決めたパスワードを入力します。

③ 「新しいパスワード（確認）」に②で入力したパスワードと同じパスワードを入力します。

ご注意

- パスワードは、以下の条件をすべて満たす必要があります。
  - 以下の 3 種類を、それぞれ 1 文字以上使用すること
    半角英字：A～Z、a～z
    半角数字：0～9
    半角記号：「-」「_」「.」「@」
    例）Abc@92_i
  - 8 文字以上 20 文字以下で、ユーザーID と異なる文字列であること
  - 現在使用中のパスワードと異なる文字列であること
- 本システムのパスワードを変更すると、工員・検査員の場合は、特定 DTC 照会アプリのパスワードも変更されます 。
  管理責任者・統括管理責任者の場合は、利用者管理システムのパスワードも変更されます。

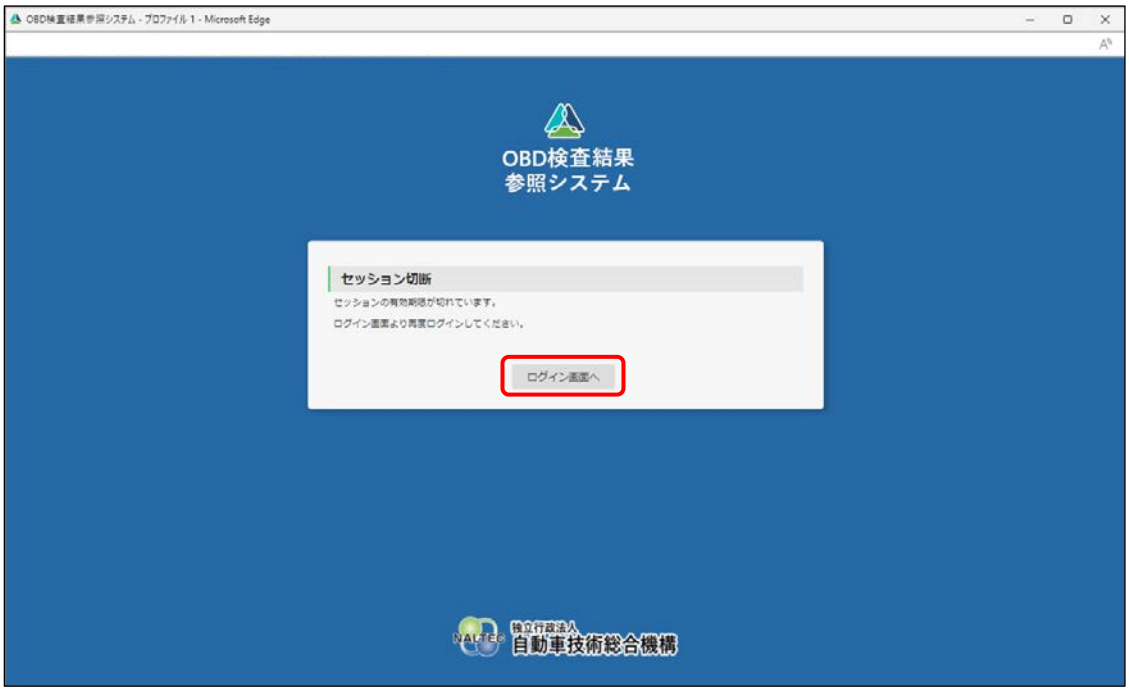
3.　「変更」を押す

《パスワード変更完了》画面が表示されます。

以上で、パスワードの変更の操作は完了です。次回からは、設定した新しいパスワードでログインしてください。

5.4　《セッション切断》画面が表示されたとき

本システムを一定時間操作しないと、自動的にシステムからログアウトし、《セッション切断》画面が表示されます。この場合は、「ログイン画面へ」を押して、再度ログインを行ってください。



ログイン方法については、「■本システムにログインする（2 回目以降）」（P. 15）を参照してください。

5.5　クライアント証明書の有効期限が切れたとき

クライアント証明書には有効期限があります。クライアント証明書の有効期限が近付くと、「お知らせ」メニューで通知されます。有効期限のお知らせが通知された場合、クライアント証明書を更新してください。
クライアント証明書の更新は、有効期限内、有効期限切れ後のどちらでも可能です。

ご注意

お使いの Soliton KeyManager のバージョンにより、手順が異なります。
インストールしているバージョンをご確認のうえ、以下の手順を実施してください。

- Soliton KeyManager が V2.2.0 以降の場合（p.45）
- Soliton KeyManager が V2.0.X 以前の場合（p.49）

Soliton KeyManager が V2.2.0 以降の場合

1. デスクトップの「Soliton KeyManager」アイコンを実行する

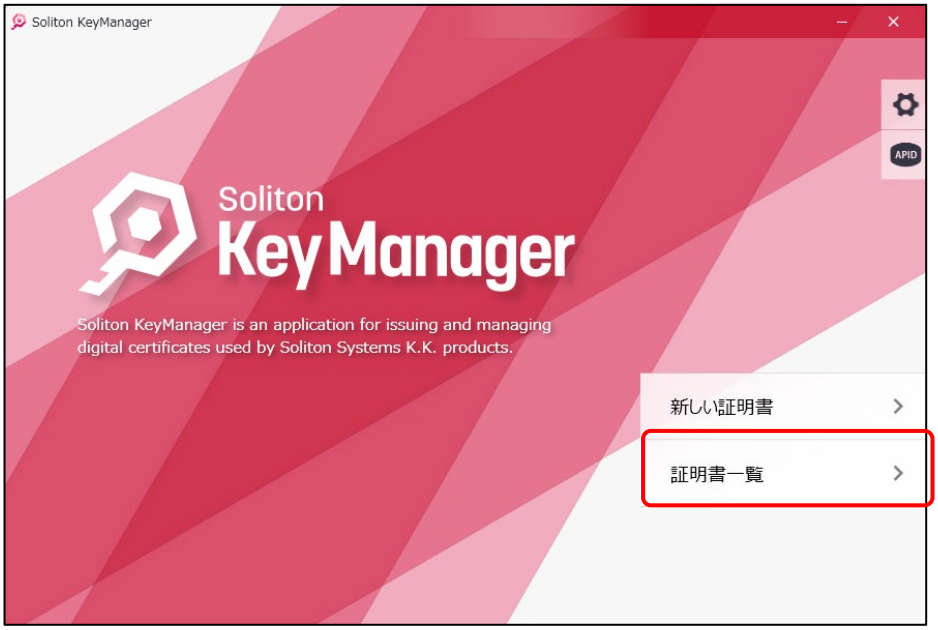
Soliton KeyManager が起動します。

メモ

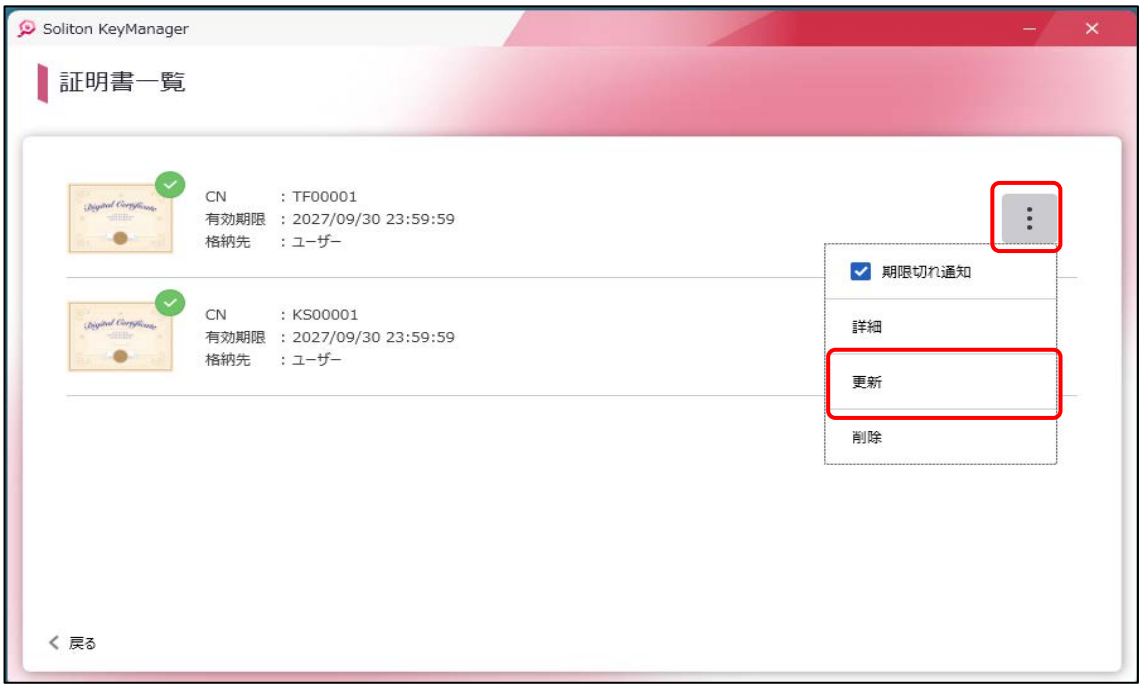
- アイコンを実行する操作については、お使いの端末の設定に従ってください。
  例）PC の場合、アイコンをダブルクリックします。
- アイコンが見つからない場合は、PC または Windows タブレットの検索欄に「Soliton KeyManager」と入力して、検索結果に表示された「Soliton KeyManager」アプリを実行します。

- Soliton KeyManager が見つからない場合は、端末から削除されているおそれがあります。再インストールが必要なため、管理責任者または統括管理責任者にお問い合わせください。管理責任者または統括管理責任者は、『利用者管理システム 操作マニュアル』を参照して、Soliton KeyManager のインストールを行ってください。

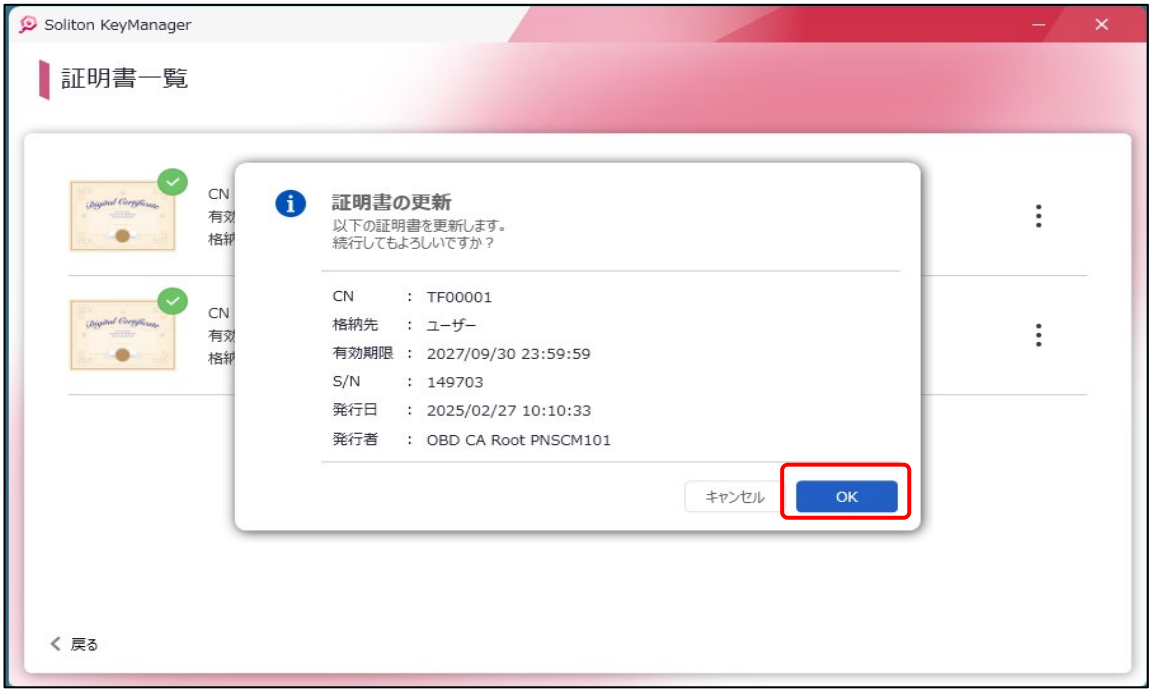
2.　「証明書一覧」を押す



3.　更新する証明書の「…」を押し「更新」を選択する



4. 確認画面で「OK」を押す

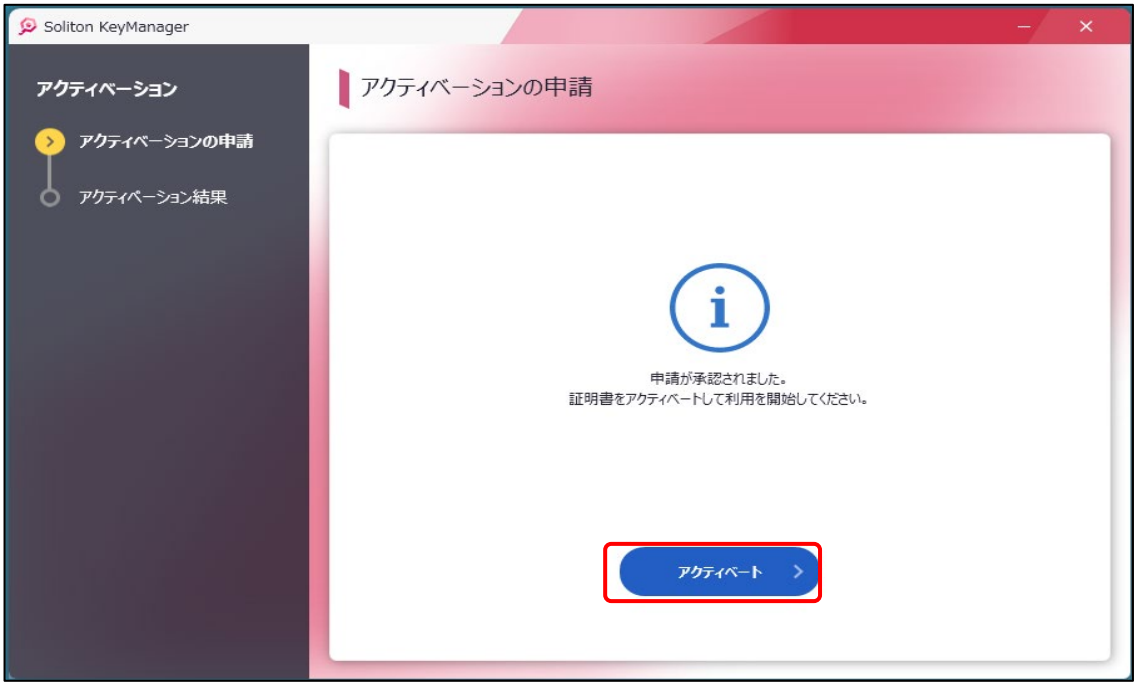


5. パスワードを入力し、「次へ」を押す

項目	内容
パスワード	パスワードはユーザーID と同じです。

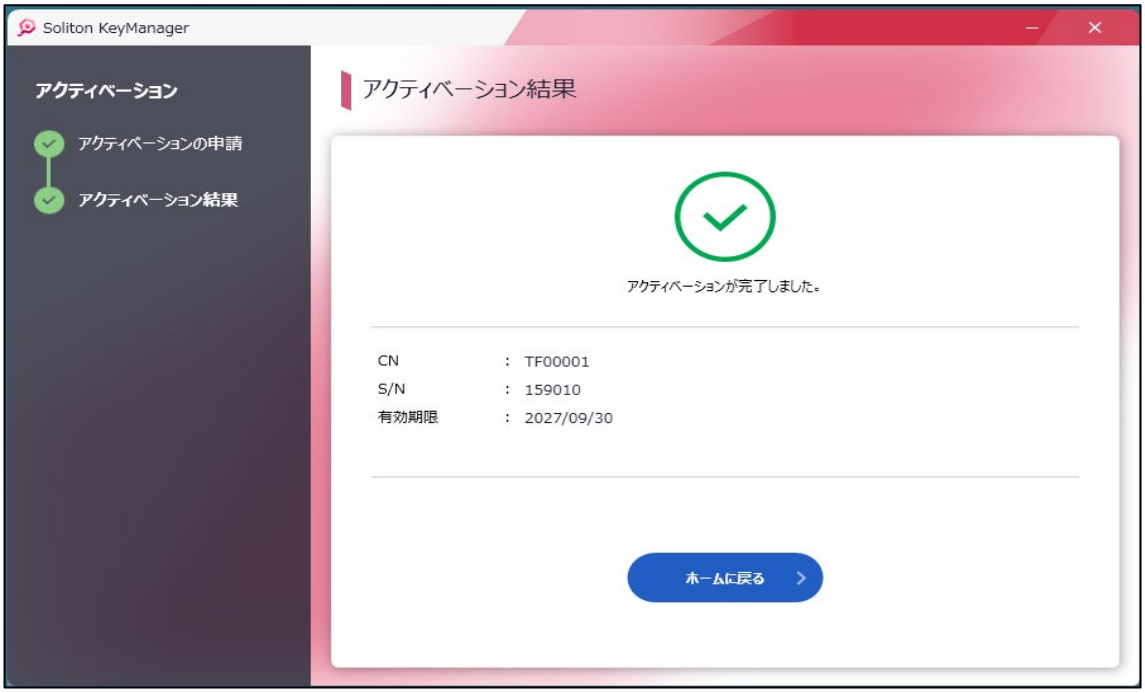
処理が完了し、画面が切り替わるまで少し待ちます。

6. 「アクティベート」を押す



処理が完了し、画面が切り替わるまで少し待ちます。

7. アクティベーション完了の画面が表示されることを確認する



「ホームに戻る」を押すと、ホーム画面に戻ります。

以上で、クライアント証明書の更新の操作は完了です。

Soliton KeyManager が V2.0.X 以前の場合

1. デスクトップの「Soliton KeyManager」アイコンを実行する

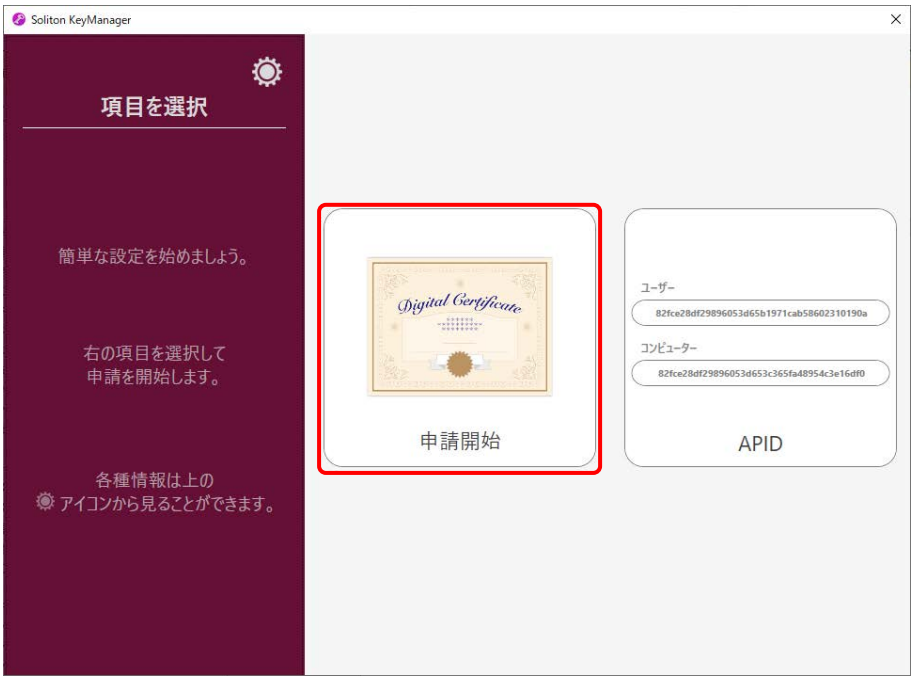
メモ

- アイコンを実行する操作については、お使いの端末の設定に従ってください。
  例）PC の場合、アイコンをダブルクリックします。
- アイコンが見つからない場合は、PC または Windows タブレットの検索欄に「Soliton KeyManager」と入力して、検索結果に表示された「Soliton KeyManager」アプリを実行します。

- Soliton KeyManager がインストールされていない場合は、管理責任者または統括管理責任者に確認してください。

Soliton KeyManager が起動します。

2.　「申請開始」を押す

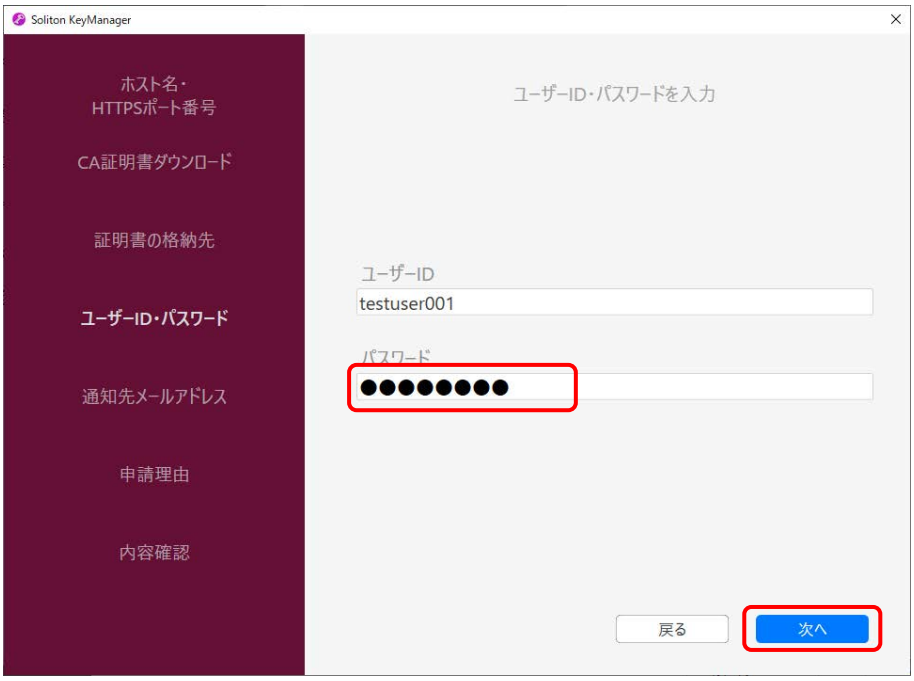


3.　更新する証明書の「申請」を押す

【有効期限内の場合】

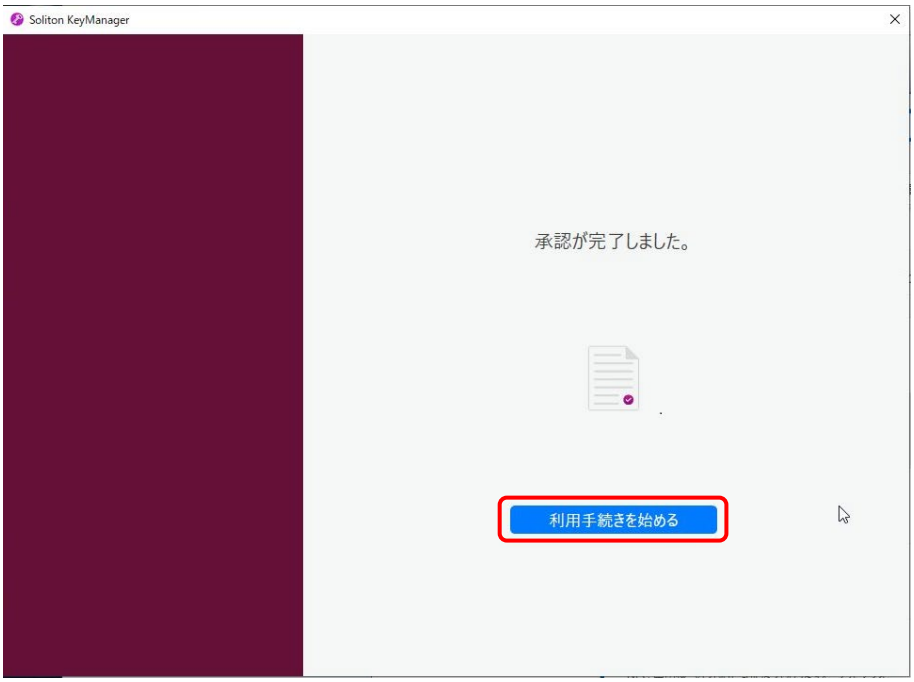
【有効期限切れの場合】

4. パスワードを入力し、「次へ」を押す



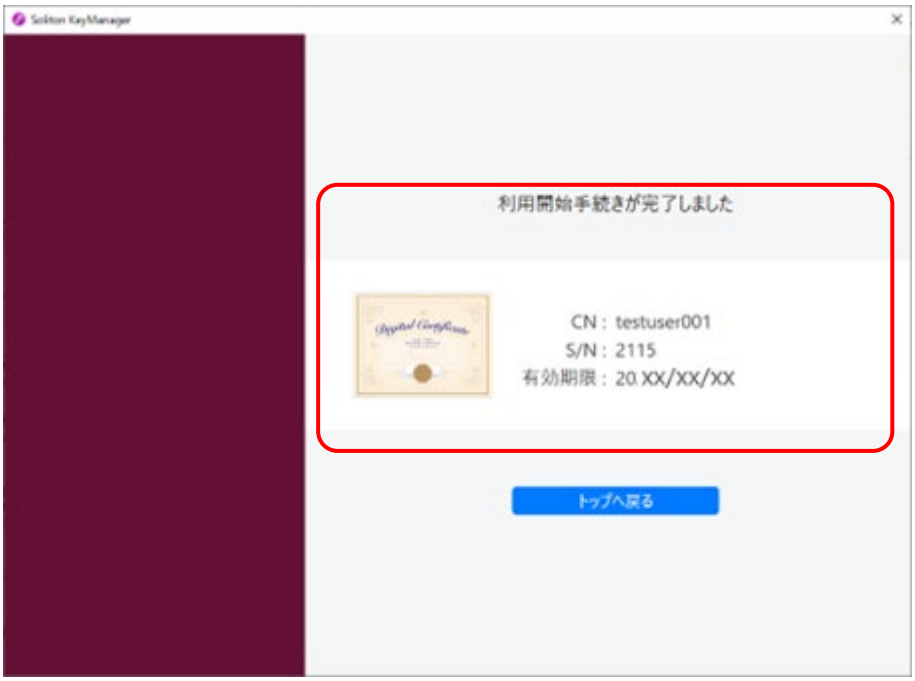
項目	内容
パスワード	パスワードはユーザーID と同じです。

5. 「利用手続きを始める」を押す



6. ユーザーアカウント制御ダイアログが表示され、アプリ「NetAttest RA Client Admin Module(x86)」による変更の許可を求められた場合「はい」を押す

7. 手続き完了画面が表示されることを確認する



以上で、クライアント証明書の更新の操作は完了です。

5.6　型式検索結果と検査場での検査要否確認結果が異なったとき

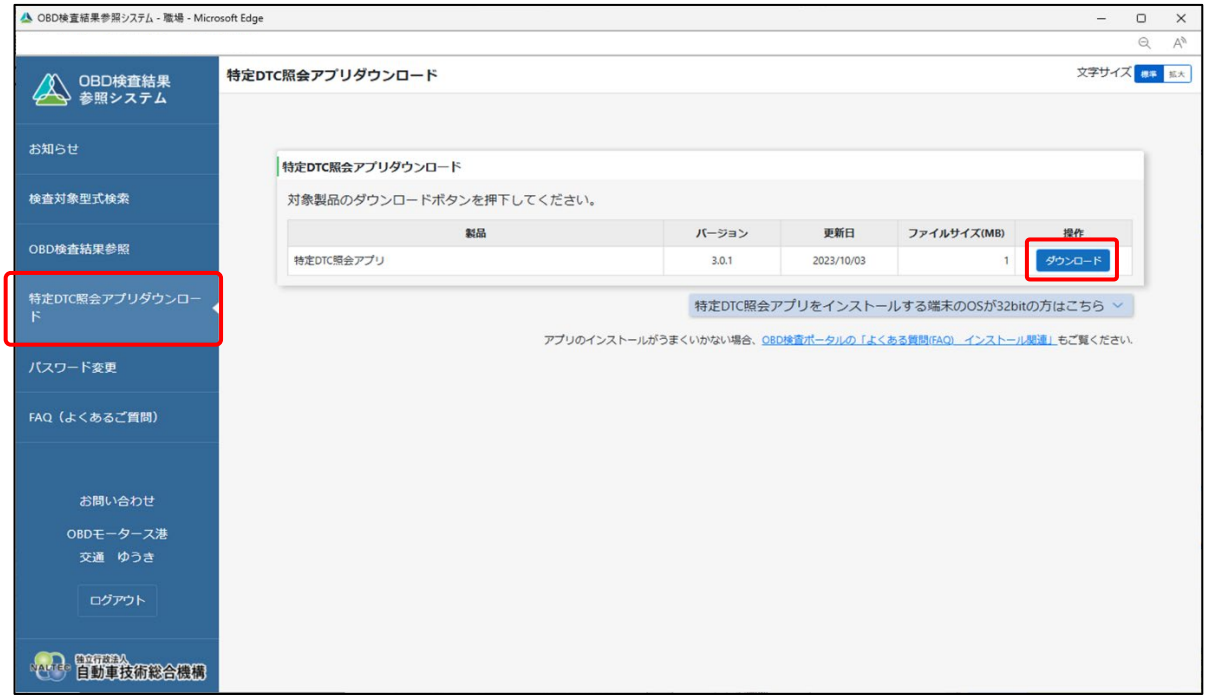
OBD 検査の要否は、型式の情報だけでなく、車両 1 台 1 台の細かい情報を踏まえて個別に決定するため、一般的に OBD 検査の対象か否かを示す本システムの型式検索結果と異なるケースがあります。OBD 検査または OBD 確認の実施は、特定 DTC 照会アプリの要否確認結果に従って行ってください。

5.7　特定 DTC 照会アプリをダウンロードする

特定 DTC 照会アプリをダウンロードします。ダウンロードした特定 DTC 照会アプリは、各事業場で使用する検査用スキャンツールの端末（Windows がインストールされた PC またはタブレット）に展開します。

■OBD 検査結果参照システムで特定 DTC 照会アプリをダウンロードする

1. メニューの「特定 DTC 照会アプリダウンロード」を押し、表示された《特定 DTC 照会アプリダウンロード》画面で「ダウンロード」を押す



特定 DTC 照会アプリがダウンロードされます。

■ダウンロードした特定 DTC 照会アプリを検査用スキャンツールの端末に展開する

ダウンロードした特定 DTC 照会アプリを、検査用スキャンツールの端末（PC またはタブレット）にメールや USB メモリなどで展開します。

続いて、検査用スキャンツールの端末に特定 DTC 照会アプリのインストールを行う場合は、『利用者管理システム 操作マニュアル』の「3.5 検査用スキャンツールの端末に特定 DTC 照会アプリをインストールする」を参照してください。

ご注意

同一拠点で複数の端末を使用する場合は、クライアント証明書の追加発行の申請を行ってください。詳細については、『利用者管理システム 操作マニュアル』の「6.5 使用する機器を増やしたいとき」を参照してください。

5.8　検査結果を削除する

管理責任者は、所属する事業場の OBD 検査結果または OBD 確認結果を削除することができます。

ご注意

- 削除した検査結果は、本システム、特定 DTC 照会アプリで確認できなくなります。
- 復元機能はありません。真に必要がある以下のような場合のみ削除するようにしてください。
  - 誤った車両情報を入力して OBD 検査または OBD 確認を実施した場合
  - OBD 検査または OBD 確認実施後に、その事業場で点検整備を行わないこととなった場合

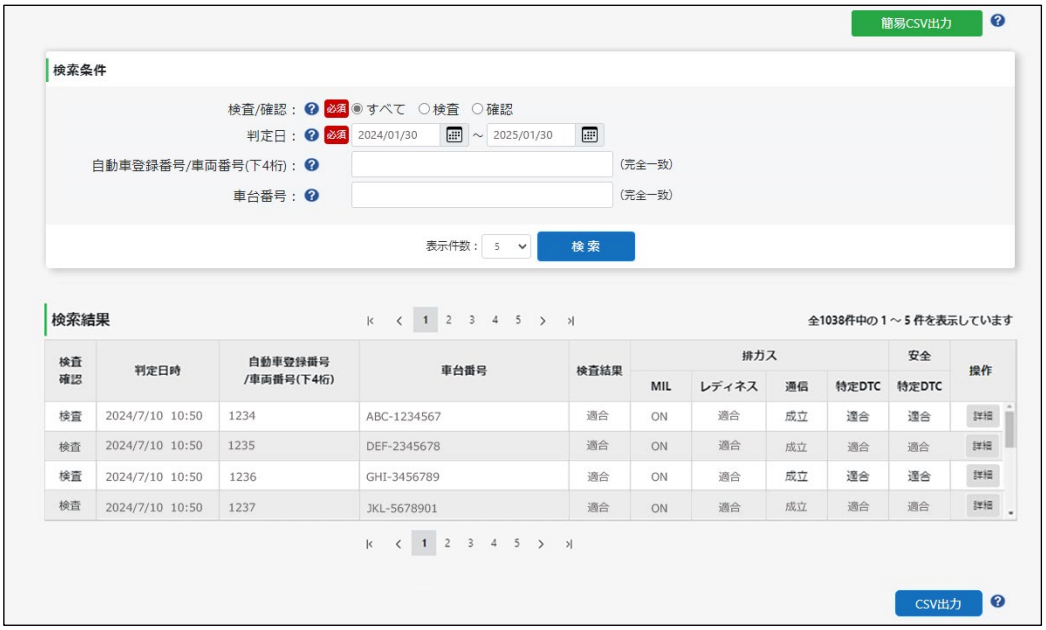
メモ

- OBD 検査をやり直す場合は、OBD 検査結果を削除する必要はありません。
  そのまま、再度 OBD 検査を実施してください。
- グループに所属している事業場の管理責任者は、管理権限を付与されている場合のみ検査結果の削除ができます。管理責任者への管理権限の付与については、統括管理責任者にお問い合わせください。
  （統括管理責任者、検査員および工員は削除できません。）

1. 削除したい検査結果の条件を選択し、「検索」を押す

各入力項目についての詳細を確認する場合は、「4.1 OBD 検査結果を検索する」を参照してください。

《OBD 検査結果参照》画面が表示されます。



2. 《OBD 検査結果参照》画面で、削除したい検査の「詳細」を押す

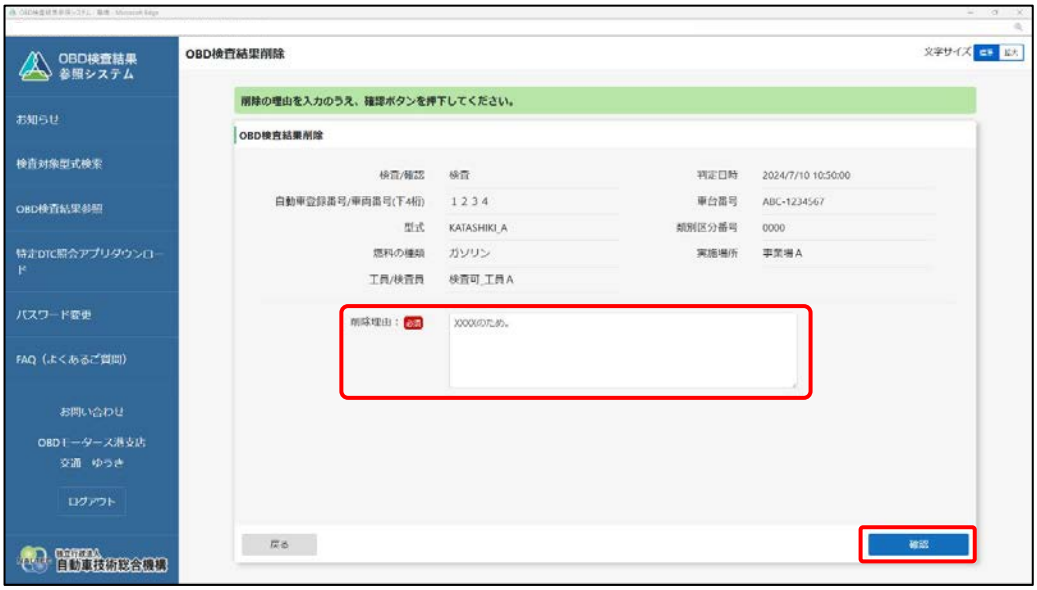
OBD 検査結果の詳細や特定 DTC の情報などが表示されます。

3. 「削除」を押す

メモ

管理権限が付与されていない管理責任者は、削除ボタンが表示されません。

4. 検査結果を削除する理由を入力し、「確認」を押す



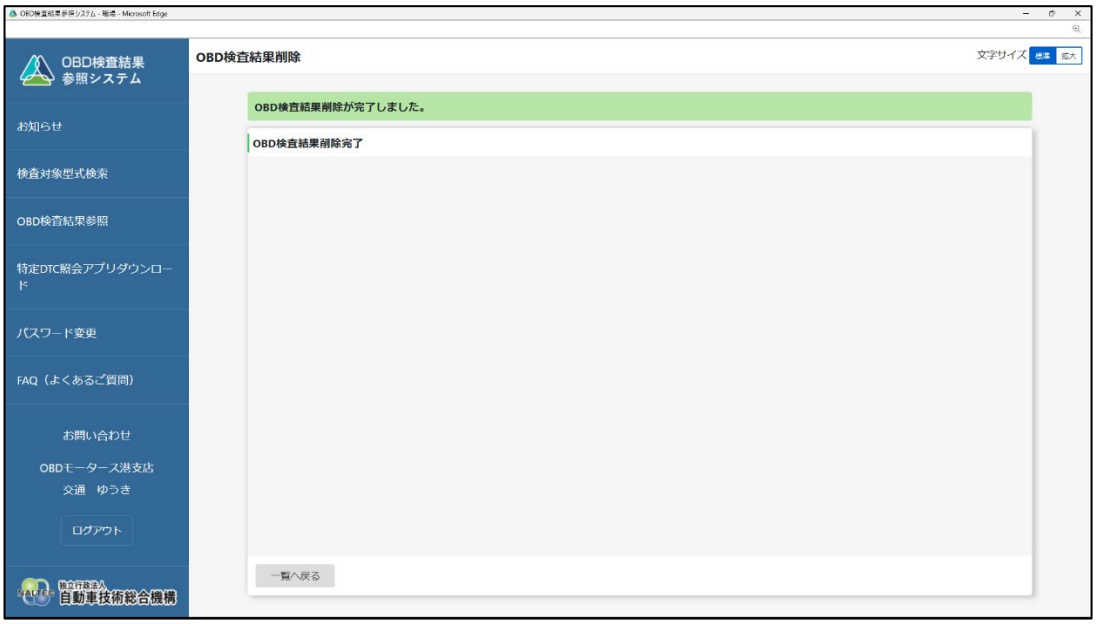
「車両受付誤りのため」などの検査結果削除理由を入力します。

5. 入力した内容を確認し、「実行」を押す

《OBD 検査結果削除完了》画面が表示されます。

メモ

誤っている場合は、左下の「戻る」を押し、手順 **4** に戻って申請内容を修正してください。

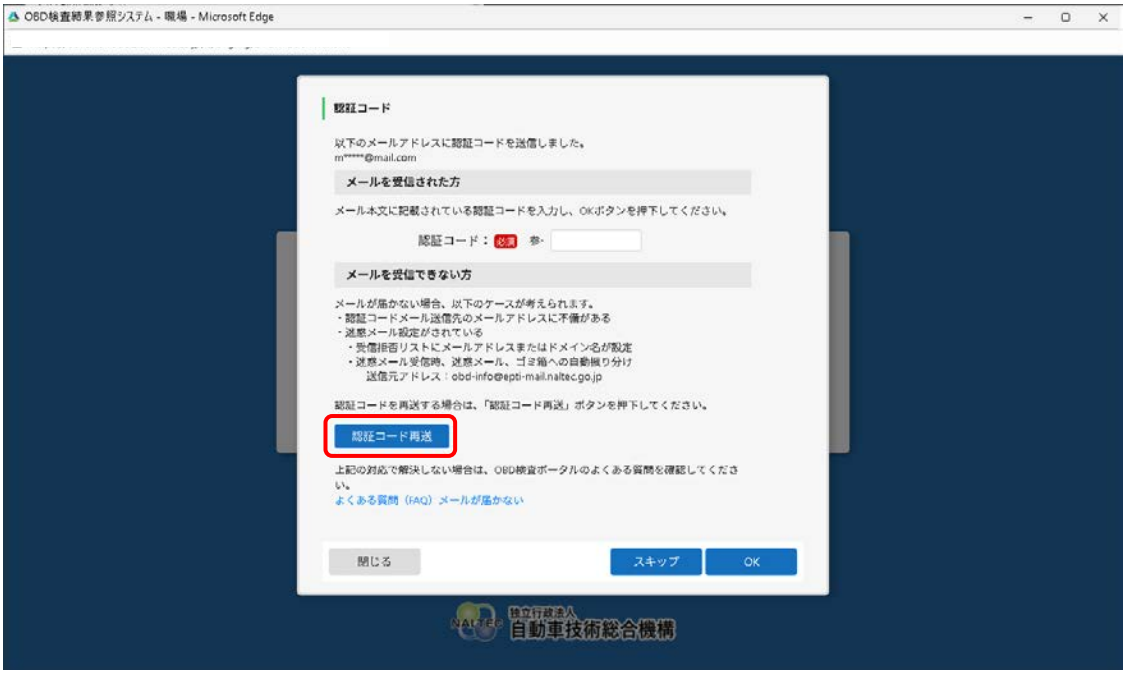


以上で、検査結果を削除する操作は完了です。

5.9　認証コードが届かないとき

しばらく経っても認証コード送信メールが届かない、もしくは認証コードの有効期限が切れた場合、認証コードを再送してください。

1.　「認証コード再送」を押す



2.　「OK」を押す

《認証コード入力》画面に戻ります。

ご注意

上記の方法で問題が解決できない場合は、OBD 検査ポータルのよくある質問を確認してください。